

pick up 研修委員会総括

【この一年で行った研修】

- ・ 接遇マナー
- ・ 心理的虐待・虐待防止研修
- ・ 研修動画を活用した内部研修(複数のテーマ)
- ・ 感染症予防研修・感染症対策訓練
- ・ 夜間緊急時想定訓練
- ・ 摂食嚥下研修
- ・ 個人情報保護規定
- ・ その他 外部研修等



竹の塚あかしの杜では、参加人数の調整や開催日を複数回に分ける等、様々な感染予防対策を継続しながら研修を実施しました。テーマに沿った講義やディスカッション、グループワーク等、職員一人ひとりが知識を増やし、支援に活かせるよう内容に沿った研修を行ってきました。今後も利用者の皆様が安心・安全に生活が送れるよう研修を実施し、職員全体でより良いサービス提供が行えるよう努めて参ります。

(記：大谷)



防災員会総括

今年度の防災訓練は、消火・通報・マルチダウン訓練(5月)、水害訓練(7月)、夜間想定訓練(12月)、不審者対応訓練(1月)、カードランダム訓練(地震)(2・3月)を実施しました。当然ですが、どの訓練も利用者の安全を守るということに変わりありません。

発災時に少しでも迅速に避難誘導が出来るよう心掛けて実施しています。今年度も各訓練に参加された職員からの意見や実際に訓練を行った際の反省を踏まえて、今後の訓練に活かしていきます。また、新人職員や異動職員にもしっかり伝えられるよう行なっていければと考えています。これからも職員一人ひとりが利用者の命を預かる者として、安心・安全な生活を送って頂けるよう取り組んでいきます。

(記：高須)



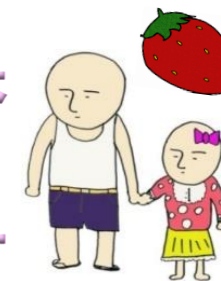
【編集後記】

今年度もあっという間に最後の号となりました。私は1年目で覚える事が沢山あり、もう1年経つことに実感が湧きません。次年度も楽しく皆様が少しでも明るくなれるような広報誌をお届けできるように取り組んでいきますのでよろしくお願い致します。

(記:水口)

もっちりもっちり

春号



社会福祉法人あいのわ福祉会 竹の塚あかしの杜 発行責任者 三瓶 善衛
〒121-0813 東京都足立区竹の塚7-19-11 TEL:03-5654-7731(代) FAX:03-3859-6655

●統括主任よりご挨拶

今年度最後の「もっちりもっちり」となりました。皆様1年間、竹の塚あかしの杜の運営にご理解・ご協力いただきありがとうございました。

昨年5月、新型コロナウイルスが感染症法上インフルエンザと同じ5類に移行され、行動制限等の措置がなくなり、昨夏や今冬には、感染拡大のニュースが見られる中、施設では幸い感染拡大することなく、現在に至ることができました。これは、ご利用者様・ご家族様方の日頃からの感染対策へのご理解とご協力があったことと、大変感謝しております。職員としても、前年度の感染拡大の経験を活かしたのではないかと考えています。現在、少しずつですが、施設外での活動も実施しています。今後も感染対策をしながら以前のような活動を実施できるよう検討していきます。

さて、今年はパリでオリンピックが開催される予定です。日本では、元旦に起きた能登半島地震で多くの犠牲者を出し、世界では終結の見通しが立たない戦争が続いています。このような状況の中ですが、選手の皆さんには競技に集中して、明るいニュースを届けてほしいと思います。このオリンピックがきっかけになり、争いのない世界になることを願うばかりです。

(記:北出)



もりのいちご狩り

～黄色い花を添えて～
 主催：あかしあ農園

3月に行われた3年振りの館内イベントは、その名も「もりのいちご狩り」～黄色い花を添えて～でした。「あかしあの杜」と「緑いっばいの森」を掛けて命名され、「黄色い花」は、アカシアの花（ミモザ）を指しています。あかしあ農園が企画したという設定で、3月に入ってから、館内のあちこちに装飾が仕掛けられ、皆さんのワクワク感を盛り上げていきました。ところが準備段階で、大事なことを見落としていました。それは、竹の塚あかしあの杜に在籍している多くの方は、食事に加工が必要ということです。

一般的な苺狩りは、摘んだ苺をそのまま食べるイメージですが、利用者の方々は、小さくカットしたり、潰したり、ミキサーでトロミをつけた方が食べやすい方が多くいらっしゃいます。でも、苺狩りは楽しんで欲しい…ということで、通所の方々は「香りを感じ、色や形を楽しみながら摘み取る体験」、入所の方々には「夕食のデザート用に摘んでいただく」という内容にしました。摘んだ苺はボウルに入れてもらい、引換えとして、黄色いアカシアの花のカードをプレゼントしました。

また、食べるのが難しい方には、プレゼントが詰まった苺を摘んでいただけるように工夫しました。これであかしあ農園ならではの準備の完了です。

当日、いちご狩りの業者「NPO法人日本農林再生保全センター」さんが、京都府から沢山の苺を車に積んで、遠路はるばる8時間以上かけて、来てくださいました。会場は、甘酸っぱい香りに包まれ、可愛い真っ赤な苺が沢山並び、一步入ると誰もが「わあっ♡」と歓声を上げていました。部屋中全体がフォトスポットになり、沢山の笑顔で溢れていました。

苺の品種は、奈良県の古都華（ことか）で、都内ではあまりお目に掛れない物で、甘く香り高い苺は大好評でした。NPO法人日本農林再生保全センターの皆様、ご協力ありがとうございました。

次は、近隣の皆さんと交流できるイベントを考えていきたいと思います。

(記：白井)



※ボランティアさん募集：年齢・性別・経験は問いません。興味のある方、楽しみたい方、24時間365日募集しています。現在活動は控えています。活動再開後に連絡をさせていただきます。